

長岡市住宅政策マスタープラン策定について

地域委員会説明資料

【 目的 】

住宅政策マスタープランは、平成 21 年度から 10 年間を計画期間として、住宅政策の今後の方向性や推進すべき施策を示す計画として策定します。

学識経験者や市民代表等からなる策定委員会を設置し、平成 19 年度、20 年度の 2 カ年間で、合併により広がった新長岡市の各地域の特性を踏まえた長岡らしい質の高い住生活を支える住まい・まちの実現を目指し、検討を進めています。

【 経過 】

平成 19 年 9 月 18 日	業務委託契約	委託先	ランドブレイン株式会社
平成 19 年 11 月	市民アンケート実施	5000 世帯	回収率 52%
	その他現況調査実施		
平成 20 年 2 月 12 日	長岡市住宅政策マスタープラン策定委員会設置 第 1 回策定委員会（発足、課題提起）		
平成 20 年 4 月 19 日	第 2 回策定委員会（住宅を取り巻く課題）		
平成 20 年 8 月 7 日	第 3 回策定委員会（基本理念、基本目標等施策の体系）		
平成 20 年 11 月 11 日	第 4 回策定委員会（施策の検討、素案）		

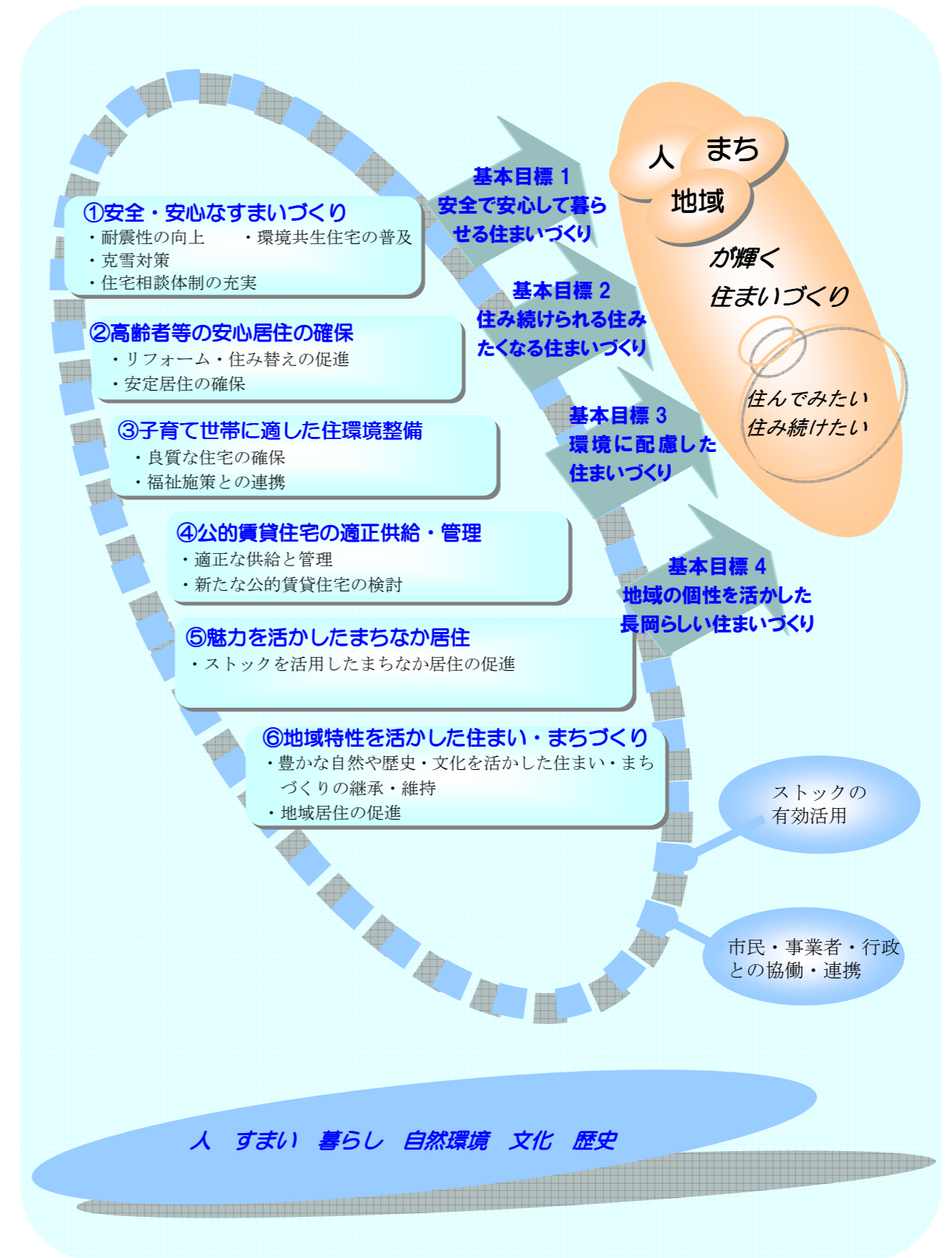
【 内容 】

基本理念	① 住生活・住宅ストックの質の向上を図ります。 ② 「長岡」の特性・魅力を活かします。 ③ 長岡市の将来像（長岡市総合計画）の実現を担います。
基本目標	① 安全で安心して暮らせる住まいづくり ② 住み続けられる住みたくなる住まいづくり ③ 環境に配慮した住まいづくり ④ 地域の個性を活かした長岡らしい住まいづくり ※施策の体系は裏面。
重点施策	右図のとおり
特徴	「地域特性を活かした住まいづくりの推進」 「シティホールを核としたまちなか居住の推進」

人・まち・地域が輝く住まいづくり

【今後の予定】

- ① パブリックコメント実施（12 月上旬～下旬）
- ② 第 5 回策定委員会（2 月中旬 素案承認予定）



第3章 施策の展開と評価

1. 施策体系

基本理念 人・まち・地域が輝く住まいづくり

基本目標1 安全で安心して暮らせる住まいづくり

[基本方針]

[基本施策]

(1)日本一災害に強いまちを目指した住まいづくり

- ①災害に強い住まいづくりの促進
- ②地域の防災力向上に向けた活動等の促進

(2)高齢者・障害者が安心して暮らせる住まいづくり

- ①高齢者・障害者が住み続けられる住まいの改善等の促進
- ②高齢者・障害者の安定した居住の確保

(3)子育て世帯が安心して暮らせる住まいづくり

- ①子育て世帯が暮らしやすい良質な住宅供給の促進
- ②子育て世帯向け住情報の提供

(4)地域で支えあう住まいづくり

- ①宅地開発における居住者コミュニティ形成の促進
- ②住宅や住環境づくりに関わる NPO やボランティア活動の促進
- ③地域における防犯活動の促進

(5)公的住宅の適切な供給と維持管理

- ①真に困窮する世帯への公営住宅の供給
- ②市民のニーズに応じた公的住宅の供給
- ③まちづくりと連携した住宅の供給
- ④既存住宅の適切な維持管理による有効活用

基本目標2 住み続けられる住みたくなる住まいづくり

[基本方針]

[基本施策]

(1)良質で住みよい住宅地・住宅ストックの供給

- ①長く有効活用できる住宅ストックの形成の促進
- ②まちづくりと連携したユニバーサルデザイン化の促進

(2)住宅情報の提供と住意識の啓発

- ①住宅相談ネットワーク体制の充実
- ②住まいに関する情報の発信や意識の啓発

(3)地域の中心的な市街地の魅力を高める住まいづくり

- ①多様なニーズに対応したまちなか居住の促進
- ②大手通り周辺におけるまちなか居住の魅力向上の推進
- ③地域の中心的な市街地の魅力的な居住地としての再生の促進
- ④良好なまち並み形成の誘導

(4)多様なライフスタイルに応じた住まいづくり

- ①市場を通じたりフォームの促進
- ②空き家の有効活用の検討
- ③多様な住まいや住まい方の普及に向けた支援

基本目標3 環境に配慮した住まいづくり

[基本方針]

[基本施策]

(1)地球環境にやさしい住まいづくり

- ①住まいの省エネ・環境共生の促進
- ②住宅の長寿命化の促進

(2)資源の有効活用による住まいづくり

- ①地域で産出される木材の活用の促進
- ②再生品や再生可能な建築資材等の利用促進

基本目標4 地域の個性を活かした長岡らしい住まいづくり

[基本方針]

[基本施策]

(1)雪と共生した住まいづくり

- ①住環境や世帯構成に応じた克雪住宅の普及促進
- ②快適な歩行空間の確保
- ③除雪が困難な世帯への支援の促進

(2)豊かな自然や歴史・文化を継承した住まいづくり

- ①歴史や文化等、地域の魅力を活かした暮らし方や住まいづくりの促進
- ②良好な景観保全や景観形成の取組みの促進
- ③地域の気候、風土に合った住宅・住環境づくりの継承と普及促進
- ④農山村集落の魅力を活かした住まいづくりの促進

(3)市民協働による住まいづくり

- ①地域で行うまちなみ整備や克雪対策の促進
- ②市民協働による住宅・住環境づくりの促進

中之島地域

●広域位置図

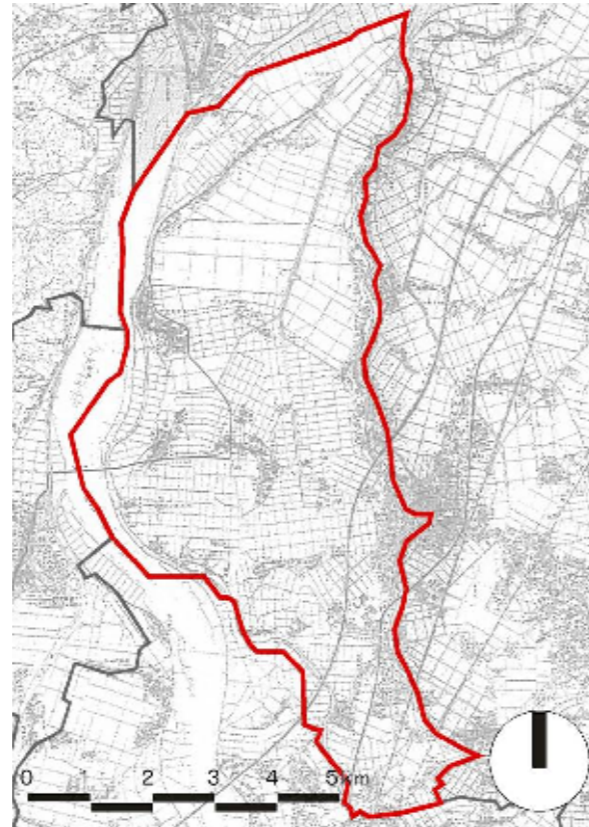


●地域の特性

南側は長岡地域、北側は燕市・三条市と接し、3つの川に囲まれた緑豊かな平地となっており、古くから水稲を中心とした農業で栄えてきた。

交通利便性が高く長岡地域のベッドタウンとなっている。

●地域図



●住宅・住環境に関わる特性

〈世帯特性〉

- ・三世代同居が多く、世帯分離しても親の敷地内に別棟を建設する世帯が多く見受けられる。
- ・高齢化が進んでいる集落がある。

〈住宅特性〉

- ・空き家は今後増える可能性があり、古民家的なものが多く、修繕をすれば有効活用できるが、現状では空き家活用の考えは浸透していない。
- ・集落によっては代々受け継いだ家を守る意識が強い。
- ・借家はアパートが主流で、未就学児を持つ世帯が多く、子供が成長すると持ち家に移住する傾向にある。
- ・地域内の大工仕事の多くがリフォーム関連で、バリアフリーなどの福祉関係のものが多（手すり設置、段差解消など）。

〈雪対策〉

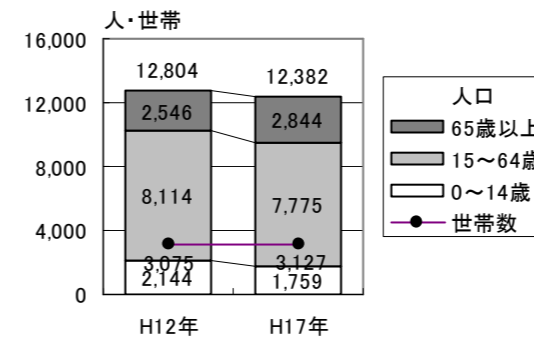
- ・雪の降る量は少ないが、住宅の柱・梁は太めになっている。

〈要望・その他〉

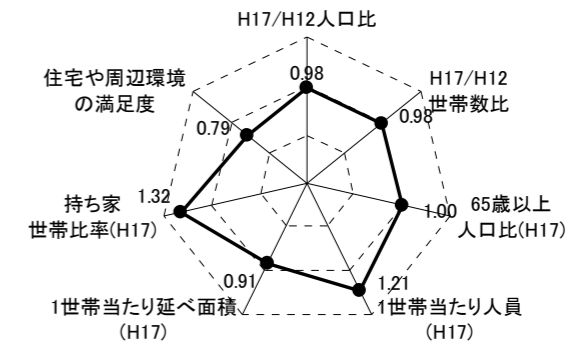
- ・地域のことは地域で解決する考えを持ち、地域特性を活かしたものにすべき。
- ・地域内の事業者に対し、住宅施策のPRをするべき。

●地域に関するデータ

■年齢3区別人口・世帯数の推移



■人口・世帯数等の長岡市平均との比較



(グラフは長岡市全域数値を1とした時の割合を示す)

●地域の住環境

水害からの復興（道路整備）



広い間口の玄関を有する木造住宅

